

秋田県鹿角市：豊富な再エネの地産地消と森林資源を活用した持続可能なまちづくり

脱炭素先行地域の対象：鹿角市全域
主なエネルギー需要家：住宅12,465戸、民間施設1,066事業所、公共施設270施設

取組の全体像

鹿角市及び地元企業が出資して設立された地域新電力かづのパワーとの契約をする家庭・事業所を増やすとともに、地域外へと流出していた地元再エネ電気の確保を進め、再エネ電気の地産地消による地域全体での脱炭素化を図る。あわせて、温室効果ガスの削減効果が大きい省エネの取組を、市内企業や市民と一体となって進める。また、森林のJ-クレジット化によって資金確保を行い再造林率の向上を図り、2030年以降も持続可能なカーボンニュートラルの実現を目指す。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 地域新電力かづのパワーの地域再エネ電源の確保と市民・事業者の電力契約切り替えの推進
- ② 事業所の省エネ設備更新、家庭の省エネ家電購入支援によるエネルギー消費量の低減
- ③ かづのパワーに売電することを条件とした市遊休地で実施する太陽光発電事業への支援による電力の地産地消
- ④ 市民、企業の自家消費型太陽光・蓄電池導入支援による電力の自給自足



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 住宅の断熱改修支援によるエネルギー効率の改善及び住環境の向上
- ② 家庭向け薪・ペレットストーブ購入支援による化石燃料の代替
- ③ 脱炭素行動事業者の認証制度や鹿角ゼロカーボンサポーター制度等による市民の行動変容の促進
- ④ 市内事業者による森林資源のJ-クレジット化を行い市内外への売却による再造林に必要な資金の確保

3. 取組により期待される主な効果

- ① 市外に流出していた再エネ電気の地産地消化を進め、得た資金をもとに人口減少対策など地域課題の解決を図る。
- ② 市内事業者により森林のJ-クレジット化をすることで効率的に資金を確保し再造林率を向上させ、持続可能なカーボンニュートラルを実現する。
- ③ 人間と野生生物の生活圏の明確化と出没する野生生物の早期発見により、自然と共生し安心して暮らせるまちづくりをする。

4. 主な取組のスケジュール

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
自家消費太陽光・蓄電池導入支援					
薪ストーブ・ペレットストーブ購入支援					
市遊休地で実施する太陽光発電事業の募集 公共施設への太陽光発電設備設置					
ゼロカーボンサポーター制度による行動変容					
森林資源のJ-クレジット化					